

- 1 単元名 自分が選んだ本や文章を要約しよう  
「くらしの中の和と洋」(東京書籍)
- 2 目標
  - 暮らしの中の文化に関心をもって読み、進んで関連のある資料を探して調べたり、「4年1組くらべっこ発表会」のための発表原稿を作ったりしようとしている。  
(興味・関心・意欲)
  - 対比されている事柄に注意して読み、必要な情報を取り出し、指定された分量でまとめて要約することができる。  
(読むこと)
  - 指示語や接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解し、使うことができる。  
(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)
- 3 指導に当たって
  - (1) 児童観(男子4人、女子8人、計12人)  
本学級の児童に、要約についての実態調査(平成24年9月20日実施、第4学年1組12人)を行ったところ、「保健委員の児童が放送原稿をつくるために、資料を読んで40字から60字でまとめる。」という設問に対し、目的や必要に応じて要約できた児童は2人であった。他の10人は、必要な情報を取り出すことができず、そのうちの3人は、分量も不十分であった。この結果から、説明文を読み、目的や必要に応じて要約することに課題があることが分かった。これは、これまでの指導が、目的を明確に設定した要約指導ではなかったり、条件に合わせて要約するための手立てが不足したりしていたことに起因していると考える。
  - (2) 教材観  
本教材文は、児童が気付きにくい「和」と「洋」の違いやそれぞれの良さを対比して分かりやすく説明している。教材文から視野を広げ、対比される様々なものについて調べようという意欲につなげることが期待できる。本教材では、児童自身が決めた「比べるもの」について調べ、「4年1組くらべっこ発表会」に向けて発表原稿をつくるという目的のために、複数の本や文章から必要な情報を取り出し、指定された分量でまとめる活動を設定している。目的や必要に応じて要約する力を育てたい単元である。
  - (3) 指導観  
本単元では、目的や必要に応じて要約するために「4年1組くらべっこ発表会をしよう」を単元を貫く言語活動と設定する。具体的には、まず、第一次として、単元の終わりに「4年1組くらべっこ発表会」を行うこと、そのために、読んだ本や文章を要約して発表原稿に書き換えることを児童に紹介し、学習の見通しをもたせる。また、単元を通して並行読書の時間を設定することで、自分がみんなに紹介したいものを選択できるようにする。次に、第二次として、教科書を使って要約の仕方を反復学習する。この時、「情報取り出し・要約シート」を活用し、本文中のどの部分を取り上げればよいのかが明確になるようにする。また、目的と条件を設定して書き換える活動を行うことで、要約の仕方を習得できるようにする。最後に、第三次として、自分が紹介したいものが書いてある本や文章を、第二次で学んだ要約の仕方を使って発表原稿に書き換える活動を行う。このように、目的と条件を設定して書き換える活動を行えば、目的や必要に応じて要約する力を育てることができると考えた。

#### 4 本時の指導

- (1) 目標 自分が選んだ本や文章の対比されている事柄に注意して読み、必要な情報を見極めて取り出し、指定された分量でまとめることができる。
- (2) 準備・資料 関連図書、他社の教科書教材、発表原稿シート、情報取り出しシート、下書き用紙、掲示物（児童の発表タイトル一覧表、発表原稿のモデル文、要約の仕方）、確認シール

#### (3) 展開

学習活動及び内容	指導上の留意点と評価（◎個への対応）
<p>1 本時の学習のめあてを確かめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「4年1組くらべっこ発表会」をするための発表原こうを作ろう。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・明日は発表会だな。</li> <li>・私は、〇〇と〇〇の△△をくらべっこします。</li> <li>・三つの約束があったね。</li> <li>・教科書を使って要約の仕方を学習したね。</li> </ul> </div> <p>2 並行読書で選んだ本や文章を、発表原稿に書き換える。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「情報取り出しシート」を使おう。</li> <li>・「何と何の」、「どんなところを」比べているのかな。</li> <li>・80字から100字でまとめるんだ。</li> <li>・必ず入れないといけない言葉は何かな。</li> <li>・本や文章に書いてある言葉を使わないといけないんだ。</li> </ul> </div> <p>3 自分が作った発表原稿を読み、目的と条件に合っているかを確かめる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読んでみよう。</li> <li>・主語と述語は合っているかな。</li> <li>・大事な言葉が抜けていないかな。</li> <li>・接続語と指示語の使い方はどうか。</li> </ul> </div> <p>4 本時の学習のまとめをし、次時の活動について知る。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三つの条件に合わせて要約したら、発表原稿ができたね。</li> <li>・発表の練習をしよう。</li> <li>・もっとよい原稿にならないかな。</li> </ul> </div>	<p>指導上の留意点と評価（◎個への対応）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「4年1組くらべっこ発表会」をするために、自分が並行読書で選んだ本や文章を発表原稿に書き換えることを確認する。</li> <li>・活動の目的を明確にするために、「くらべっこ発表会で何を紹介するか」を一人一人に発表させるようにする。</li> <li>・本時の活動の見通しがもてるように、教科書を使って要約の仕方を学んできたことを振り返り、活動の三つの条件（「必要な情報が取り出せているか」、「指定された分量か」、「本文中にある言葉を使っているか」）を確かめる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>◎必要な情報を見極めて取り出し、指定された分量でまとめている。 〔読む能力〕（発表原稿）</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎「情報取り出しシート」を自由に使ってよいことにする。</li> <li>・発表原稿のモデル文と要約の仕方を掲示しておき、参考にできるようにする。</li> <li>◎それぞれの児童によって必要な情報が違うので、前時までに児童の「くらべっこ読書カード」をチェックし、担任が要約しておき、すぐに助言できるようにする。</li> <li>◎作業が早く終わった児童には、発表原稿の中の「くらべてみて、自分が考えたこと」の部分の記入するよう声をかける。</li> <li>・自分の発表原稿を読み直し、「必要な情報が取り出せているか」、「指定された分量か」、「本文中にある言葉を使っているか」の三つを確かめて確認シールを貼るようにする。</li> <li>◎発表原稿が、必要な情報を見極めて取り出し、指定された分量で記述できていない場合は、原稿のどこの記述を削ったらよいかやどの情報を取り出したらよいかを助言する。</li> <li>・次時では、発表原稿を読み直したり、発表練習をしたりすることを伝え、目的意識と見通しをもって学習に臨めるようにする。</li> </ul>